



第63号 令和8年9月発行

会報

シルバーくまとり

公益社団法人 熊取町シルバー人材センター

〒590-0452 熊取町山の手台 1-8-4

電話：072-452-8753



もくじ

CONTENTS

- * ① 定時総会 2 ページ
- * ② 町長訪問・職員奮闘記 3 ページ
- * ③ くまとり健康通信「妻のひとこと」..... 4 ページ
- * ④ まなび 子ども性暴力防止法 5 ページ
- * ⑤ つどひ シルバーカフェ「花ごよみ」 6～7ページ
- * ⑥ 事務局だより 8 ページ



定時総会

令和8年度第25回定時総会は、6月8日（月）午後2時より「すまいるズ煉瓦館」コトトンホールにおいて開催されました。

まず初めに、宮崎理事長より関係諸機関の皆様へのお礼と今後の抱負をかねて挨拶をいたしました。来賓の藤原町長、文野町議会議員、谷川衆議院議員、伊東衆議院議員や日根野谷大阪府議会議員からご祝辞を頂戴し、この他大阪労働局職業安定部長、大阪府シルバー人材センター協議会会長等、多くの方々からお祝いのメッセージもいただきました。その後、議長の選出があり、議長には、西校区第一班の額田定男氏が選出され、会員159名（委任状提出者等含む）の出席で定足数を満たし、総会が成立したことを確認し、議事録署名人には、議長並びに出席した理事長、副理事長及び常務理事になる旨が報告され、議事に入りました。



《上程された議案》

議案第1号

令和7年度

事業報告の承認について

議案第2号

令和7年度

収支決算報告の承認について

議案第3号

会費及び賛助会費規程の

一部改正について

《報告案件》

報告第1号

令和8年度

事業計画について

報告第2号

令和8年度

収支予算等について

議事については、議案書の次第に沿って進行し、上程された議案は全て原案のとおり承認及び可決されました。次に案件2件が報告され、閉会しました。

定時総会の開催前に、柳町副理事長の進行のもと、会員交流会「私の就業」を開催しました。

参加者からは、日頃の就業で感じていることや、仕事をするうえで工夫していること、やりがいなどについて、さまざまな意見や体

験談が寄せられました。普段はなかなか聞くことのできない他の会員の経験や考えに触れ、和やかな雰囲気の中で交流を深める有意義な時間となりました。

また、認知症予防として、手と足を同時に動かす運動にも挑戦しました。思うように動かず苦戦する場面もありましたが、会場には自然と笑顔や笑い声が広がり、心も体もほぐれる楽しいひと時となりました。



毎年、有意義なイベントを考えておりますので今年度参加できなかった会員各位も来年度はぜひご参加下さい。

町長訪門



令和8年7月16日（木）
宮崎理事長と柳町副理事長が、熊取町役場に赴き、要望書「地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望」を藤原町長に手交し、今後のシルバー人材センター事業推進のために必要な支援を要望しました。

また、当日は南副町長と黒川健康・いきいき高齢課長も同席され、様々な意見交換を行いました。

職員奮闘記



令和8年4月1日より当センターに勤めることになり、もうすぐ半年になるうとしています。前職では建築関連の事務兼管理の仕事に従事していたこともあり、除草全般と家事援助を主に担当させていただいております。

入職した当初は、会員さんの顔と名前を覚える事が非常に大変でした。担当している会員さんとは接点が多く覚えやすかったのですが、他の会員さんは月に一度の報告書提出くらいしかお会い出来ない方も多く、またコロナ禍以降マスク着用がさらに人のお顔を判断し難くさせました。すでに面識があるのに再度「はじめまして」と言ってしまう、「こないだ紹介してもらったよ！笑」なんて場面もしょっちゅうでした。こればかりは年月を重ねることでは成長出来ません。それでも皆さんとても優しく接して下さいる方ばかりで、最近は外ですれ違ったら手を振ってくださったり、私の方も会員さんを見かけてご挨拶させていただく機会も増えました。

次に戸惑ったのは、土地勘のなさです。前職から熊取町には出入りさせていただいておりましたが、主要な道路ばかりで町の中に入り込む事は少なかったからです。地域に根付いた今の仕事は「熊取町〇〇」という地域名だけでおおよその位置関係やルートを判断しなければならず、道に迷うこともしばしば・・・。そんな時も上司や先輩方は「迷った方がまた新しい道を覚えられるから」と温かく見守って下さいました。

デスク作業と現場出勤は7:30くらい。事務方の仕事はおおかた慣れてきて、受注処理や締めの入力作業・シフト作成などは、時間

に追われながらもこなせるようになってきました。現場出勤は日焼けや暑さ、虫や蜂（ヘビにも遭遇しました！涙）など不得意な事もあります。会員の皆さんがたくましく働いてらっしゃる姿を見て、まだまだ自分も頑張らなければなど感じています。

私事ですが、この春に子供たちが巣立ったばかりで寂しさも感じていたのですが、今は毎日社会との繋がり・人との繋がりを感じられて、寂しがってもいられないくらい忙しさの中の充実感に満足しています。

うまくいかなかったり、失敗したり・・・落ち込んで帰る事もしばしばありますが、それ以上に毎日楽しく働かせていただいております。いずれ「そんな時もあったなあ」と懐かしく思い返せるほど成長できるように、まだまだ走り回っていききたいと思います。これからもうよろしく願いします！

立石 英美

健康通信 「妻のひとこと」



結婚当初より妻より言われている言葉があります。「自分より早く死なないでほしい。一日でも自分より長生きして欲しい。」

2021年夏、庭の剪定をしていた時に家の塀から1.5メートル下のアスファルトに落下しました。気付いたら佐野記念病院のベッドの上で目の回る状態でした。救急車で運ばれる時に妻は、「死ぬかもしれない」と思ったそうです。病名は頭蓋骨折・脳挫傷・外傷性クモ膜下出血と三つもいただきました。帽子を被っていたため死を免れたようです。この時の脳のCT検査にて脳動脈瘤が見つかりました。結局クリップ手術にて事なきを得ました。

この事故より健康に気を付けるようになり、歩くことが基本と考え毎日少しずつ増やしてきました。今では一日7000歩前後歩くようにしています。

歩くことが楽しくなり、地域のコミュニティに参加するのがいいと思い、健康くまとり探検隊に入隊しました。

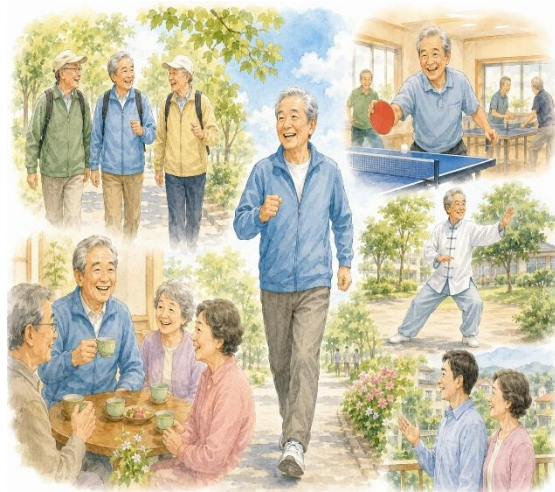
また、日頃の散歩中に卓球をされている公民館を見学し、参加OKをいただきました。メンバーの繋がりで今では三力所の卓球サークルに入っています。

運動としては、太極拳クラブも十年以上続けています。歩くことから広がった運動とサークル活動により、いろんな人との交流が始まり、日々忙しく楽しい活動、交際を嬉しく思います。充実した毎日を送れています。

最近、息子が妻に言ったそうです「お父さんは心配いらないね。毎日が楽しそうで」。歳をとると何でも面倒になり、家に閉じこもることが多くなって、認知とか不安が重なるなど、精神的に不安定になることを心配していたそうです。

健康とは、肉体的健康と精神的健康の両方が必要で、どちらかが欠けたら健康とは

言えないと思います。年配の方々には、ポジティブに何でもやってみることをお勧めします。



私の持論になりますが、「人は働ける状態ならば、何歳になっても、絶対に仕事をすべきです」周りの誰かの役に立ちましょう。自分に合った仕事を探して、人生を有意義に過ごしましょう。これも健康の一步です。

最後に、妻のひとことは叶えたいと思います。

川本 清治



「子ども性暴力防止法」という言葉を、最近耳にされた方もおられるかもしれません。正式名称はとても長く、まるで早口言葉のようですが、内容をひと言でいうと、子供たちが安心して過ごせる場所を、大人みんなで守っていきましようという法律です。この法律は、学校や保育所、学習塾など、子どもと関わる事業において、子どもへの性暴力を防ぐための取り組みを進めるものです。

また、子どもと接する仕事を就く人について、性犯罪歴の確認を行う仕組み、いわゆる「日本版DBS」も含まれています。この確認手続きにあたっては、対象となる業務に従事する方に、本人確認や戸籍情報等の登録・提出をお願いする場合があります。

ます。「戸籍」と聞くと少し大ごとのように感じるかもしれませんが、これは本人を正しく確認し、制度を適切に運用するために必要となる手続きです。

皆様にご協力をお願いする場合には、個人情報取扱いに十分配慮しながら、必要な内容を分かりやすくご案内してまいります。

さらに、この法律では、一定の基準を満たし、子どもの安全確保にしっかり取り組んでいる事業者に対して、「認定マーク」が付与される仕組みも設けられています。このマークは「子どもが安心して利用できる場所である」という目印となるもので、保護者や地域の方々にとっても安心材料のひとつになります。

今後はこのような取り組みが広がることで、地域全体で子どもを守る意識がさらに高まっていくことが期待されています。

少し難しく聞こえるかもしれませんが、大切なのは「特別なこと」ばかりではありません。たとえば、子どもと二人きりになる状況を作ること、人目のある場所に対応すること。子どもが困っている様子に気づいたら、ひとりで抱え込

まず、早めに周囲へ相談すること。こうした日ごろの小さな心がけが、子どもたちを守る大きな力になります。

シルバー人材センターでも、登下校の見守り、施設管理、子どもに関わる業務など、地域の子供たちと接する機会があります。

会員皆さんの「おはよう」「気をつけて帰りや」「大丈夫？」という何気ない声かけが、子どもたちにとって安心につながることもあります。

まさに地域の中の「見守りの目」として、シルバー世代の経験やあたたかさが生かされる場面です。

この法律は、誰かを疑うためのものではありません。子どもを守るため、そして子どもと関わる大人も安心して活動できるようにするためのものです。「見守る」「距離感を大切に」「気になることは相談する」この三つを意識するだけでも、安心できる環境づくりにつながります。

子どもたちは、地域の宝です。これから会員一人ひとりが安全への意識を持ち、地域の皆様と協力しながら、子どもたちが笑顔で過ごせるまちづくりに努めましょう。



6月に「いきいきセンタータピオホール」に移転しました。

2年目を迎えた「シルバーカフェ花ごよみ」です。移転初日は、場所に不慣れで、準備にドタバタしましたが、なんとかオープンすることができてホッとしました。

来られた方に飲み物とお菓子を提供すると、賑やかな話し声に会場が包まれました。

【6月のカフェ】

参加者17名、会話が盛り上がる中、当センター理事長による「南京玉すだれ」が始まり、大いに盛り上がり、とても楽しませていただきましたよ!!



【7月のカフェ】

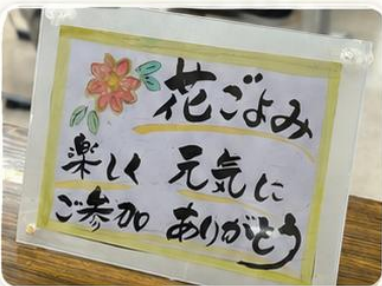
参加者20名、この日は、隣室におられた方々に、シルバー人材センターが運営しているカフェである事など説明するとコーヒーを注文して下さり、交流することができました。

そして、地域でボランティアとして活躍されている方の指導による「チェアヨガ」で身体を動かし、心を休めることができ、とても好評でした。ありがとう



ございました。
今後も、会員の方や地域で活躍されている方々の協力を得ながら、憩いと交流、プラス楽しい場として、また、「シルバー人材センター」を知っていただける場になれたらうれしいです。
皆様のご参加をお待ちしています！
会場の様子を覗いていってね！

シルバーカフェ 花ごよみ



遊歩会



●10月は「シルバー人材センター事業 普及啓発促進月間」です

毎年10月は、全国シルバー人材センター事業協会が定めた「普及啓発促進月間」です。この期間中は、各所へのポスター掲示や各種メディアを活用した広報活動など、全国的に活発な事業展開が予定されているところです。

当センターでも、万代、松源でのチラシ配布や熊取町の広報紙を通じて、会員募集やセンターの活動について紹介し、地域に密着したシルバー事業をPRしていきます。

●手作りクラブ男女会員募集のお知らせ

女性部会では、2カ月に1回、色々な手作りに挑戦しながら、和やかな時間を楽しんでいます。

得意な方も、初めての方も、気軽にご参加ください。(男性も大歓迎です！)

小物作りとおしゃべりで、心と手も温まるひとときをご一緒に過ごしましょう。



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

さて、いきいきセンタータピオホールでのシルバーカフェ「花ごよみ」通信、クラブで会員募集の記事、いかがでしたか。

まなぶ、くらす、つどう、ひろば、目次の見出しのとおり、これが人生です。

年齢は「もう終わりに向かう年」ではなくて、「まだ何が起こるか分からない年」です。

あなたに合った仕事、いい出会いの場が、当シルバーにはいっぱいあります。

本誌に対するご意見、ご要望、アイデア等どしどしお寄せください。

広報委員会

●会員拡大にご協力をお願いします

一緒に活動していただける会員を随時募集しています。

「まだまだ元気に働きたい」「これまでの経験を地域で役立てたい」「新しい仲間と出たい」など、入会の動機はさまざまです。

毎月第4水曜日の午後2時から、シルバー人材センター会議室で入会説明会を開催しています。センターの仕組みや仕事の内容などについて、分かりやすくご説明いたします。

会員の皆様のご友人やご近所の方で、シルバー人材センターに興味をお持ちの方がおられましたら、ぜひお声がけください。

また、ホームページのバナー「入会申し込み」から、来所せずにお申し込みいただくこともできます。皆様からのご紹介をお待ちしています。

●仕事だけじゃない！ 楽しいこともいろいろあります！

シルバー人材センターでは、仕事だけでなく、会員さん同士で楽しめる活動もいろいろ行っています。

釣りが好きな人は、のんびり釣りを楽しんだり、カラオケが好きな人は、十八番を気持ちよく歌ったり。シルバーカフェ「花ごよみ」では、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しみ、気が付けば話が弾んで時間を忘れてしまうこともあります。

「知っている人がいないから、ちょっと不安…」という方も大丈夫。最初は少し緊張していても、一緒に楽しんでいるうちに、いつの間にか顔なじみが増えていきます。

仕事をするのも元気の秘訣ですが、笑ったり、話したり、好きなことを楽しんだりするのも、元気で過ごすための大切な時間です。

シルバー人材センターで、新しい楽しみや仲間を見つけてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。